

Economic Indicators

定例経済指標レポート

指標名: 商業販売統計(2011年1月)

発表日2011年2月28日(月)

～自動車販売持ち直しなどに伴い、再び前年比プラスへ～

第一生命経済研究所 経済調査部
担当 エコノミスト 岩田 陽之助
TEL : 03-5221-4525

(単位: %)

		商業販売額								コンビニ販売額			
		卸売業		小売業		大型小売店		百貨店	スーパー	前年比	既存店 前年比		
		前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	既存店 前年比			既存店 前年比	
09	7-9月期	▲ 22.8	▲ 0.6	▲ 28.3	▲ 1.0	▲ 1.9	0.9	▲ 5.5	▲ 7.0	▲ 9.8	▲ 5.4	▲ 3.5	▲ 6.3
	10-12月期	▲ 14.9	▲ 0.2	▲ 19.3	▲ 0.4	▲ 0.7	▲ 0.1	▲ 6.4	▲ 7.0	▲ 8.8	▲ 5.8	▲ 3.1	▲ 5.9
10	1-3月期	▲ 0.7	3.1	▲ 2.2	3.0	3.8	2.7	▲ 4.2	▲ 4.9	▲ 4.9	▲ 4.9	▲ 2.3	▲ 5.2
	4-6月期	2.1	▲ 0.2	1.5	▲ 0.2	3.7	0.1	▲ 2.9	▲ 3.5	▲ 3.8	▲ 3.4	▲ 0.3	▲ 3.0
	7-9月期	1.5	▲ 1.4	0.9	▲ 1.9	3.2	0.3	▲ 1.1	▲ 1.6	▲ 3.0	▲ 0.9	6.9	4.2
	10-12月期	3.0	1.5	4.2	3.3	▲ 0.4	▲ 3.3	0.1	▲ 0.5	▲ 0.6	▲ 0.5	1.8	▲ 0.9
09	7月	▲ 24.0	1.6	▲ 29.8	1.9	▲ 2.4	0.4	▲ 7.0	▲ 8.4	▲ 11.8	▲ 6.0	▲ 5.1	▲ 7.5
	8月	▲ 22.4	▲ 1.5	▲ 28.0	▲ 2.2	▲ 1.8	0.5	▲ 5.0	▲ 6.8	▲ 8.9	▲ 5.7	▲ 3.0	▲ 5.6
	9月	▲ 22.0	▲ 0.5	▲ 27.1	▲ 0.2	▲ 1.3	0.6	▲ 4.2	▲ 5.6	▲ 7.8	▲ 4.3	▲ 2.4	▲ 5.7
	10月	▲ 19.2	0.6	▲ 24.2	0.6	▲ 1.0	▲ 0.6	▲ 6.4	▲ 7.2	▲ 10.6	▲ 5.2	▲ 2.9	▲ 5.6
	11月	▲ 14.6	0.1	▲ 18.7	0.0	▲ 1.1	0.0	▲ 9.0	▲ 9.7	▲ 11.8	▲ 8.3	▲ 3.6	▲ 6.4
	12月	▲ 10.9	▲ 0.1	▲ 14.6	▲ 0.5	▲ 0.2	▲ 0.3	▲ 4.2	▲ 4.6	▲ 5.1	▲ 4.3	▲ 2.8	▲ 5.7
10	1月	▲ 3.8	6.4	▲ 6.1	7.7	2.3	2.0	▲ 5.1	▲ 5.7	▲ 5.7	▲ 5.7	▲ 2.5	▲ 5.5
	2月	▲ 0.9	▲ 2.6	▲ 2.7	▲ 3.2	4.2	0.9	▲ 3.4	▲ 4.0	▲ 5.3	▲ 3.3	▲ 1.8	▲ 4.9
	3月	2.4	▲ 4.0	1.5	▲ 5.9	4.7	0.8	▲ 4.1	▲ 4.9	▲ 3.6	▲ 5.6	▲ 2.4	▲ 5.1
	4月	3.6	6.1	3.1	8.1	4.9	0.5	▲ 3.1	▲ 3.7	▲ 3.7	▲ 3.7	▲ 1.2	▲ 3.9
	5月	1.3	▲ 3.0	0.7	▲ 3.6	2.9	▲ 2.0	▲ 3.2	▲ 3.9	▲ 2.1	▲ 4.8	▲ 0.8	▲ 3.7
	6月	1.3	▲ 1.3	0.6	▲ 1.3	3.3	0.4	▲ 2.4	▲ 3.1	▲ 5.7	▲ 1.6	1.2	▲ 1.4
	7月	1.0	2.1	▲ 0.1	2.3	3.8	0.7	▲ 1.0	▲ 1.3	▲ 1.4	▲ 1.2	2.9	0.3
	8月	2.1	▲ 1.8	1.2	▲ 3.0	4.3	1.4	▲ 1.3	▲ 1.8	▲ 3.0	▲ 1.3	3.2	0.7
	9月	1.5	▲ 1.3	1.5	0.0	1.4	▲ 2.8	▲ 1.1	▲ 1.7	▲ 5.0	0.0	15.1	12.2
	10月	0.3	0.9	0.4	1.8	▲ 0.2	▲ 1.9	1.3	0.4	0.6	0.3	▲ 3.3	▲ 6.0
	11月	5.2	3.7	6.6	3.8	1.5	2.1	0.7	0.1	▲ 0.4	0.4	3.4	0.7
	12月	3.5	▲ 1.2	5.7	▲ 0.3	▲ 2.2	▲ 4.2	▲ 1.2	▲ 1.7	▲ 1.5	▲ 1.9	5.4	2.8
11	1月	3.0	5.1	4.3	5.1	0.1	4.1	▲ 0.4	▲ 0.7	▲ 1.1	▲ 0.4	7.1	4.5

(出所) 経済産業省「商業販売統計」

○ 1月小売業販売額：前年比+0.1%

経済産業省から本日公表された10年1月の小売業販売額は前年比+0.1%となり、事前の市場予想(前年比▲1.5%、レンジ同▲3.2%～同▲0.6%)を大きく上回る結果となった。季節調整値でも、前月比+4.1%と2ヶ月ぶりに増加している。前月が同▲4.2%と大きく減少した反動の面もあるが、幅広い業種が持ち直しておりポジティブな結果として捉えられよう。

上昇の主因は、自動車販売の持ち直しだ。自動車小売業(前月比+9.4%)は12月(同+0.5%)から2ヵ月連続で増加した。エコカー補助金終了後に生じている反動減が底入れし、販売が持ち直しつつあることが背景にある。各社が販売の挺入れの為に新車や特別仕様車などを投入していることも持ち直しの一因として考えられよう。その他プラスに寄与したものとしては、飲食料品小売業(同+5.4%)や織物・衣服・身の回り品小売業(同+1.5%)などがある。雇用・所得環境が緩やかながら改善していること、消費者マインドが持ち直しつつあることなどから、個人消費は基調の部分では底堅い推移が続いている。百貨店販売統計によれば、年初の初売りやクリアランスセールが好調で、福袋が完売するケースも多く見られたようだ。また、気温の低下によってコート・ダウンなどの重衣料も動きが良いようである。

○家電販売の低迷は続く

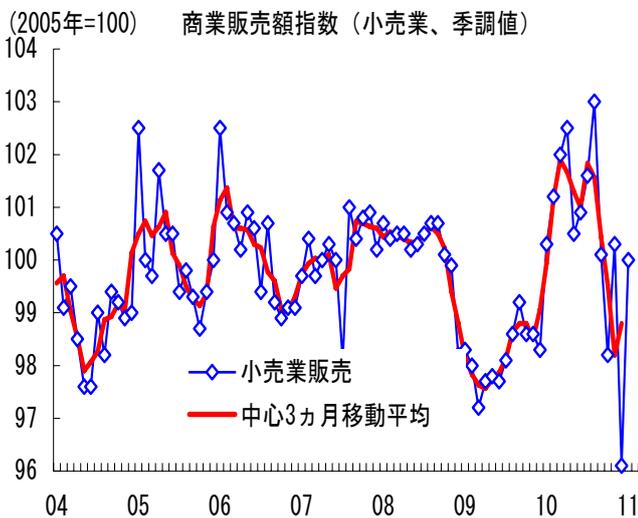
エコポイント制度に関して、1月から申請対象を省エネ性能の高い商品に限定するとともに、家電エコポイント数のリサイクル分加算を廃止するなどの変更があった。こうした変更に伴って、家電販売は薄型テレビを中心に販売低迷が続いている。1月の機械器具小売業は前月比+3.9%と増加したが、12月が前月比▲40.3%と大幅に減少した後にしては戻り幅も小さく、10-12月平均対比で見れば▲22.6%と大きく減少している。薄型テレビを中心とした家電販売の低迷は、1-3月期の個人消費に対してマイナスに寄与する公算が大きい。

○政策要因の影響剥落後は、再び個人消費は持ち直しへ

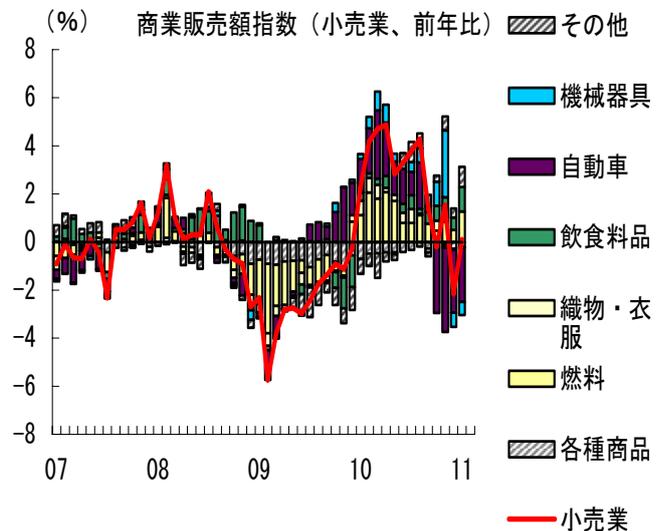
薄型テレビについては、この後も3月末のエコポイント制度終了や7月の地デジ完全移行などのイベントを控えており、販売がさらに落ち込む可能性が高く消費の足を引っ張るだろう。当面はこうした家電販売の落ち込みに伴って、個人消費は足踏み状態が続くことが予想される。

ただ、昨年10-12月期に大きく減少した自動車やたばこについては、足元では落ち込みに歯止めがかかっているほか、衣料品や食糧品など政策要因の影響を受けていない品目についても持ち直しの動きがみられる。年前半の個人消費は小幅減少となるが、10-12月期のような大幅な減少は避けられる公算だ。

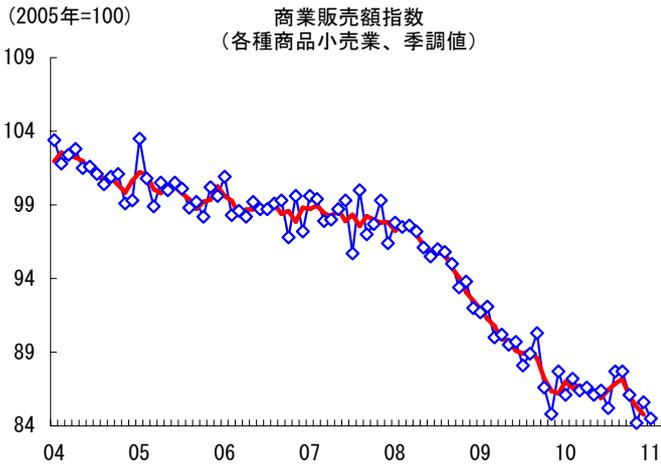
そして、さらにその先を展望すれば、個人消費は緩やかな回復傾向を迎えると考えられる。政策要因の影響が剥落することに加え、雇用・所得環境の持ち直しが続くことが予想されることなどが支援材料となるだろう。年後半から個人消費は再び持ち直しに転じると予想される。



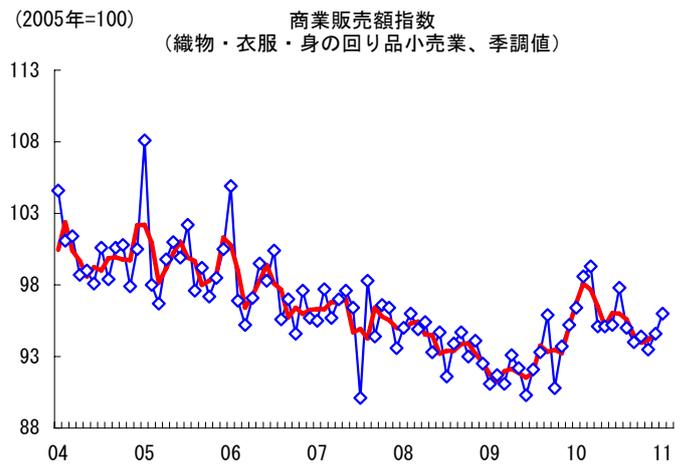
(出所) 経済産業省「商業販売統計」



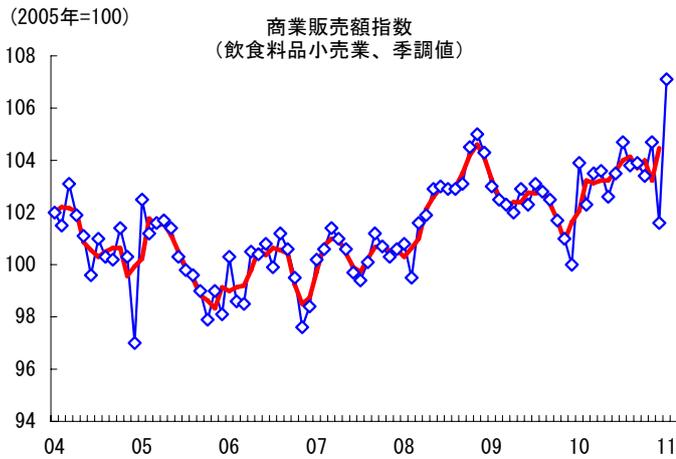
(出所) 経済産業省「商業販売統計」



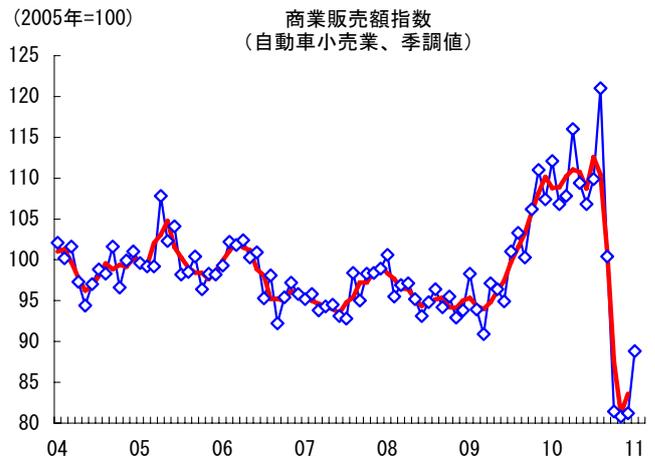
(出所) 経済産業省「商業販売統計」



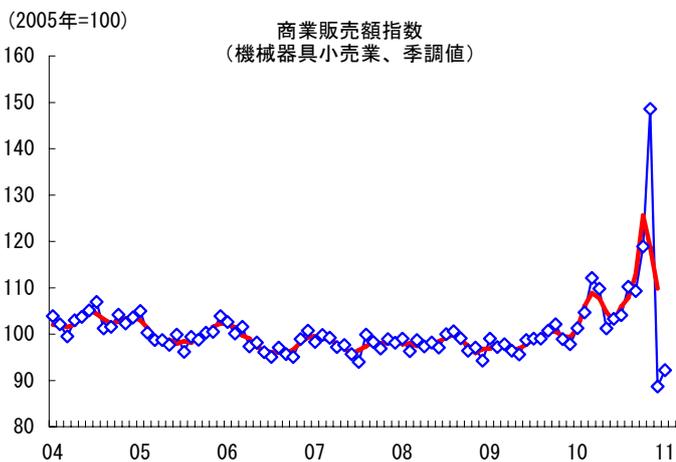
(出所) 経済産業省「商業販売統計」



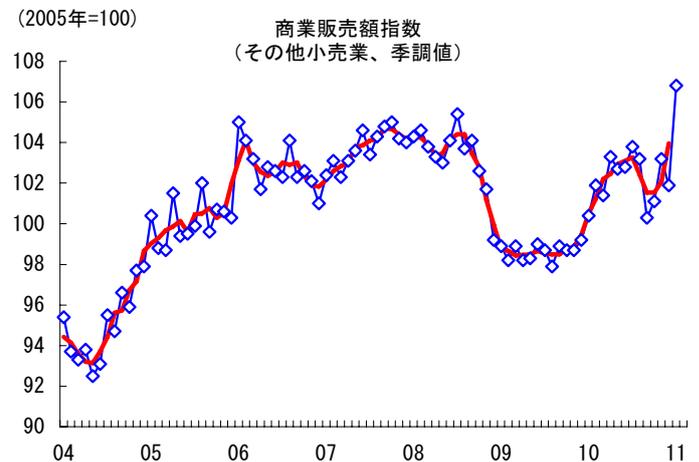
(出所) 経済産業省「商業販売統計」



(出所) 経済産業省「商業販売統計」



(出所) 経済産業省「商業販売統計」



(出所) 経済産業省「商業販売統計」